



TITLE:

天界新知識

AUTHOR(S):

---

CITATION:

天界新知識. 天界 1937, 17(196): 388-388

ISSUE DATE:

1937-07-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/167519>

RIGHT:



## 天 界 新 知 識

新知識各項に附けた番號は便宜上のもので分類に關係はない。各人の分類整理に應用されたい。

609

### プロシオン伴星の光度

プロシオン伴星 (即ち B 星) は種々の點でシリウス B 星に似てゐる。即ち(1)發見された方法が同じ。(2)主星に對する光度差が大きい。(3)質量に比して光輝が弱いから白色矮星であるなどである。G. P. Kuiper は南緯 $20^\circ$ までの光度6.50等級では距離5.70以下、それより光度の明るさに従つて距離 $30''$ までの二重星約500對の主伴星の光度差を測定してゐるが、彼が二重グレイティングを使用して觀測した所に依ると、プロシオン B 星の光度差は10.3等級となつた。従つて B 星の見掛の光度は10.8等級で、絶體光度は13.1等級となる。[Ap. J. April 1937]

610

### 極端紫外部に於ける太陽輻射の測定

太陽スペクトルの紫外部 $\lambda 2900$ 以下は地球大氣中のオゾンの吸收のため殆んど觀測不可能であるが、Orren Mohler 氏は金の光電面を有する Geiger-Müller 光電計數管を用ひて1936年の8月中、極端紫外部 $\lambda 2300-2000$ の範圍の太陽輻射エネルギーの測定を行ひ平地に於ける値として $7.2 \times 10^{-7} \text{ erg. sec}^{-1} \text{ cm}^{-2}$ を得た。これは最も鋭敏な光電管で測定出来るだけであり、寫眞乾板上に捕へるのぞみの全くないエネルギー量である。[Astronomical Journal April 1937]

611

### 新彗星 Finsler 發見さる

去る7月5日テュリツヒより下記の如き新彗星發見の電報を受けとつた。

Comet Finsler Zürich 04074 July 00326 03061 23827 20048  
20036 71372 Moeller

之れを譯すと

1937年7月4日  $0^{\text{h}} 32.6^{\text{m}}$  (U. T.)

赤 徑  $3^{\text{h}} 06.1^{\text{m}}$

赤 緯  $+38^\circ 27'$

光度は7等

彗星狀尾なし

日々運動  $\begin{cases} \Delta\alpha = +48^{\text{s}} \\ \Delta\delta = +36'' \end{cases}$

因に本年初頭よりの彗星は 1937a Daniel, 1937b Whipple, 1937c Wilk, 1937d Gale, 1937e Grigg-Skjellerup であるから、此の彗星は 1937 f と呼ぶべきである。